

新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び支援への提言

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、令和3年5月12日に福岡県に3度目の緊急事態宣言が発令された。

久留米市においても、感染予防を広く呼び掛けているものの、令和3年4月24日に感染者が75名と過去最多を記録し、予断を許さない状況が続いている。

こうした危機的な状況の収束に向け、市民や事業者などと一体となって感染拡大防止に全力で取り組むため、下記の項目について、さらなる措置を講じられるよう提言する。

記

1. 令和2年4月24日の提言に対する取り組みの継続

令和2年4月24日付けの久留米市議会議長から久留米市長への提言について、取り組みを継続すること。

2. 経済支援のさらなる充実

営業時間の短縮要請を行った飲食店はもとより、その取引先等についても、実情に即した融資や保証、給付などの支援が迅速に届けられるよう適切な措置を講じること。

また、不要不急の外出や移動の自粛による、直接的・間接的な影響を受けた事業者に対し、実情に応じた適切な支援策を講じること。

3. 安全かつ円滑なワクチン接種

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の有効性や副反応等について、分かりやすい周知に努めること。

また、安全かつ円滑な接種が行われるよう、接種体制、医療機関の負担、システム運用等について、検証・改善を行い、適切な措置を講じること。

4. 不当な差別への対応

陽性者やその家族、濃厚接触者、医療従事者及び関係する職場や学校等への誹謗中傷や、ワクチン接種の有無を理由とした不当な差別などの防止のため、正確な情報に基づいた冷静かつ、思いやりのある行動をしていただけるよう、市民に対する継続的な啓発を行うとともに相談体制の拡充に努めること。

5. 検査体制及び医療体制の充実

変異株による感染が急速に拡大し、特に低年齢層に感染が広がりつつあることから、感染予防や的確な状況把握に資するため、検査体制と医療体制の拡充に向けた取り組みを講じること。

久留米市長 大久保 勉 様
(久留米市新型コロナウイルス対策本部長)

令和3年5月14日

久留米市議会議長 永田 一伸